

# I 調査結果の概要

# 1 食肉流通の動向

## (1) 豚

### ア 豚のと畜頭数

豚のと畜頭数は1,694万頭で、前年に比べ1.0%増加した(図1、表1)。

図1 豚のと畜頭数の推移(全国)

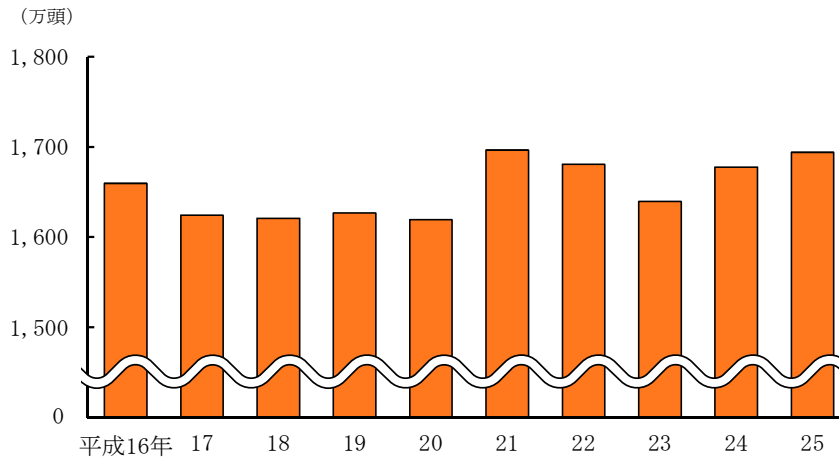


表1 豚のと畜頭数の推移(全国)

区分	単位	平成16年	17	18	19	20	21	22	23	24	25
実数	千頭	16,596	16,243	16,210	16,268	16,192	16,966	16,807	16,395	16,776	16,940
対前年比	%	101.2	97.9	99.8	100.4	99.5	104.8	99.1	97.5	102.3	101.0

注: 対前年比は、原数(Ⅱ統計表における表章単位)より算出している(以下各表において同じ。)

### イ 取引成立頭数

全国のと畜頭数に占める食肉卸売市場取引成立頭数の割合は13.2%で、前年に比べ0.1ポイント上昇した(表2)。

また、食肉卸売市場(中央卸売市場10、指定市場18)における豚肉の取引成立頭数は223万6千頭で、前年に比べ1.5%増加した。市場別では、中央卸売市場が96万6千頭で前年に比べ5.4%増加したが、指定市場は127万頭で前年に比べ1.2%減少した(表3)。

表2 豚の全国と畜頭数に占める食肉卸売市場における取引成立頭数及び割合

区分	全国と畜頭数	食肉卸売市場 取引成立頭数	割合
	千頭	千頭	%
平成24年	16,776	2,202	13.1
25	16,940	2,236	13.2

表3 食肉卸売市場における豚の取引成立頭数

区分	単位	計	中央卸売市場 取引成立頭数	指定市場 取引成立頭数
平成24年	千頭	2,202	917	1,286
25	〃	2,236	966	1,270
対前年比	%	101.5	105.4	98.8

注: 四捨五入の関係で合計値と内訳の計は必ずしも一致しない(以下、各表において同じ。)

### ウ 豚肉の卸売価格（1kg当たり平均価格）

食肉卸売市場（中央卸売市場10、指定市場18）における豚肉の規格別卸売価格は、「極上」が545円、「上」が481円、「省令」が481円、「中」が455円、「並」が417円及び「等外」が286円で、前年に比べそれぞれ7.3%、8.8%、8.8%、10.4%、12.1%、4.8%上昇した（表4）。

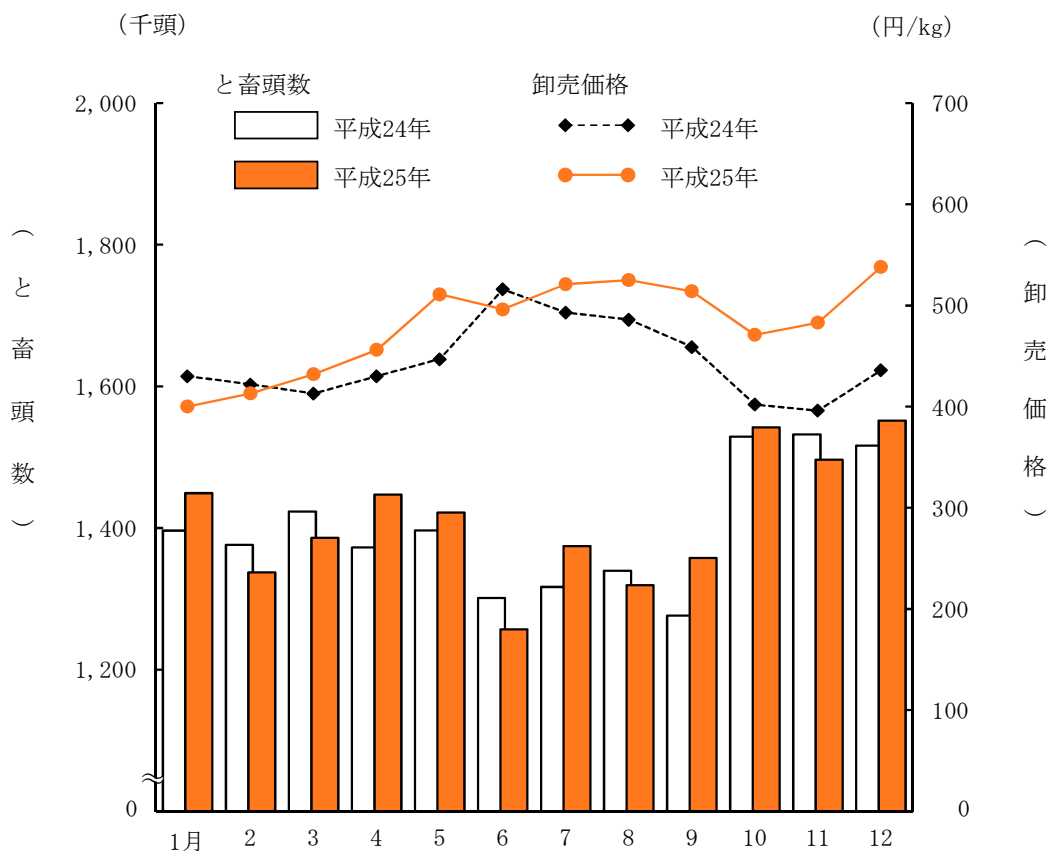
また、月別の卸売価格は、1月、2月及び6月は前年を下回ったものの、その他の月は前年を上回って推移した（図2）。

表4 豚肉の規格別卸売価格

区分	単位	極上	上	1)省令	中	並	等外
平成24年	円/kg	508	442	442	412	372	273
25	"	545	481	481	455	417	286
対前年比	%	107.3	108.8	108.8	110.4	112.1	104.8

注：1)は、「極上」、「上」を合わせたものである。

図2 豚の月別と畜頭数及び卸売価格（省令）（全国）



## (2) 牛

### ア 成牛のと畜頭数

成牛のと畜頭数は117万8千頭で、前年に比べ1.1%減少した。

このうち、和牛は53万頭、乳牛は40万1千頭、その他の牛は1万4千頭で、前年に比べそれぞれ1.9%、2.4%、4.0%減少したが、交雑牛は23万3千頭で、前年に比べ3.5%増加した。

成牛の種類別と畜頭数の構成割合をみると、和牛は45.0%、乳牛は34.1%、その他の牛は1.2%で、前年に比べそれぞれ0.3ポイント、0.4ポイント、0.1ポイント低下したが、交雑牛は19.7%で、前年に比べ0.8ポイント上昇した（図3、表5）。

図3 成牛の種類別と畜頭数の推移（全国）

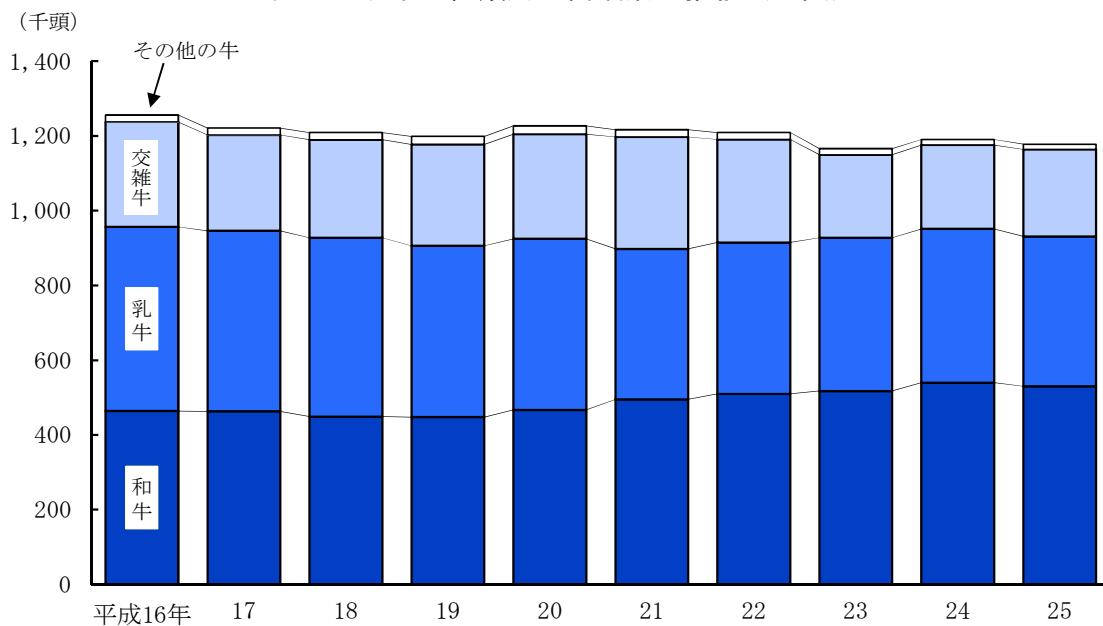


表5 成牛の種類別と畜頭数の推移（全国）

区分	単位	平成16年	17	18	19	20	21	22	23	24	25
と畜頭数											
成牛計	千頭	1,256	1,221	1,209	1,199	1,227	1,217	1,209	1,166	1,191	1,178
和牛	〃	464	463	449	448	467	495	510	518	540	530
乳牛	〃	492	483	478	458	458	403	405	410	411	401
交雑牛	〃	281	256	262	271	280	299	276	222	225	233
その他の牛	〃	18	19	19	22	22	20	18	16	15	14
対前年比											
成牛計	%	104.5	97.2	99.0	99.2	102.3	99.2	99.4	96.4	102.1	98.9
和牛	〃	100.6	99.7	97.1	99.6	104.3	105.9	103.1	101.5	104.3	98.1
乳牛	〃	108.9	98.1	99.0	95.8	99.9	88.1	100.4	101.3	100.3	97.6
交雑牛	〃	102.4	91.1	102.4	103.3	103.3	107.0	92.2	80.6	101.1	103.5
その他の牛	〃	129.1	102.5	102.4	114.6	101.0	88.9	92.9	86.9	93.4	96.0
構成比											
成牛計	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
和牛	〃	37.0	37.9	37.2	37.3	38.1	40.7	42.2	44.4	45.3	45.0
乳牛	〃	39.2	39.6	39.6	38.2	37.3	33.1	33.5	35.2	34.5	34.1
交雑牛	〃	22.4	21.0	21.7	22.6	22.8	24.6	22.8	19.1	18.9	19.7
その他の牛	〃	1.5	1.5	1.6	1.8	1.8	1.6	1.5	1.4	1.3	1.2

注：1 割合の計が100%にならないのは、四捨五入によるものである（以下各表において同じ。）。

2 構成比は、原数（Ⅱ統計表における表章単位）より算出している（以下各表において同じ。）。

## イ 取引成立頭数

全国のと畜頭数に占める食肉卸売市場取引成立頭数の割合は35.5%で、前年に比べ0.3ポイント上昇した（表6）。

また、食肉卸売市場（中央卸売市場10、指定市場18）における成牛の取引成立頭数は41万8千頭で、前年に比べ0.5%減少した。

市場別では、中央卸売市場は31万1千頭で前年並み、指定市場は10万7千頭で前年に比べ1.6%減少し、畜種別では、和牛は22万8千頭、乳牛は7万2千頭、その他の牛は2千頭で、前年に比べそれぞれ1.4%、4.3%、26.2%減少したが、交雑牛は11万7千頭で、前年に比べ4.5%増加した（表7）。

表6 成牛の全国と畜頭数に占める食肉卸売市場における取引成立頭数及び割合

年次	全国と畜頭数		割合
	千頭	食肉卸売市場 取引成立頭数 千頭	
平成24年	1,191	420	35.2
25	1,178	418	35.5

表7 食肉卸売市場における成牛の取引成立頭数

区分	単位	計	市場別		畜種別			
			中央卸売市場	指定市場	和牛	乳牛	交雑牛	その他の牛
平成24年	千頭	420	311	109	231	75	112	2
25	"	418	311	107	228	72	117	2
対前年比	%	99.5	100.0	98.4	98.6	95.7	104.5	73.8

### ウ 牛肉の卸売価格（1kg当たり平均価格）

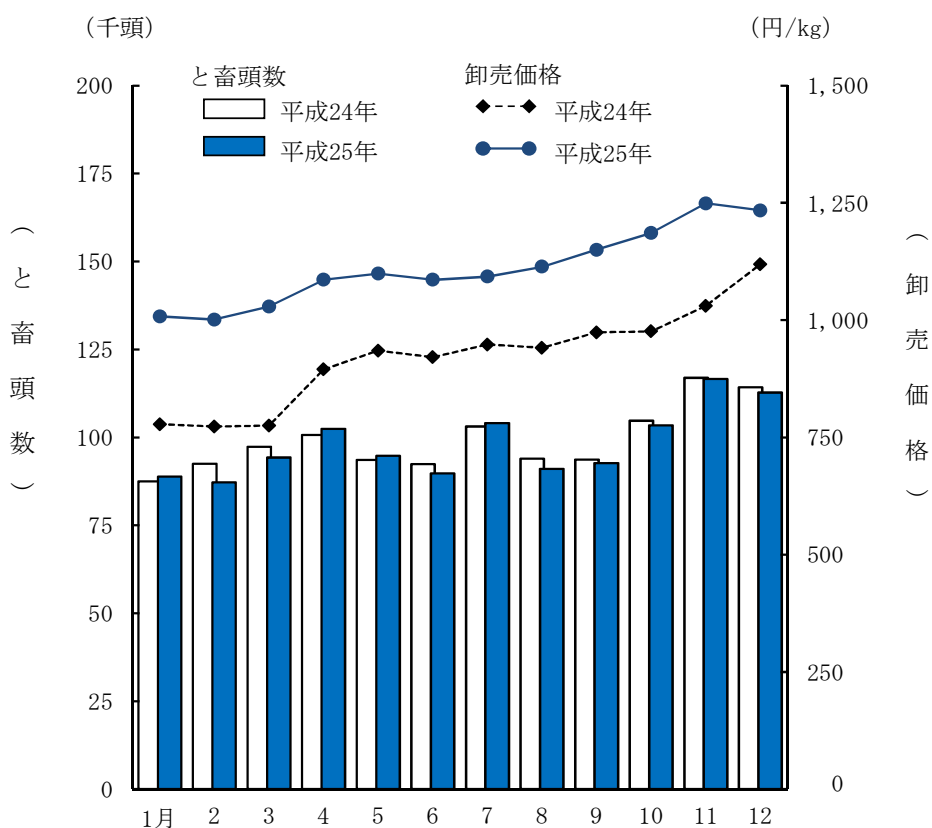
食肉卸売市場（中央卸売市場10、指定市場18）における成牛の規格別卸売価格は、全ての規格で前年を上回った（表8）。

また、月別の卸売価格も、上昇傾向で推移している（図4）。

表8 成牛の規格別卸売価格

区分	単位	A-5	A-4	A-3	A-2	A-1	B-5	B-4	B-3	B-2	B-1	C-5	C-4	C-3	C-2	C-1
平成24年	円/kg	2,073	1,704	1,461	1,091	609	1,763	1,359	1,136	810	481	1,276	1,148	989	577	296
25	円/kg	2,208	1,898	1,692	1,331	761	1,885	1,517	1,286	1,007	727	1,470	1,301	1,162	756	445
対前年比	%	106.5	111.4	115.8	122.0	125.0	106.9	111.6	113.2	124.3	151.1	115.2	113.3	117.5	131.0	150.3

図4 成牛の月別と畜頭数及び卸売価格（省令）（全国）



注：成牛の省令は、去勢牛の「B-3」、「B-2」を合わせたものである。

### (3) と畜場数

豚及び成牛のと畜頭数規模別と畜場数及びと畜頭数をみると、豚を処理したと畜場数は157場、と畜頭数は1,694万頭であった。これをと畜頭数規模別にみると、10万頭以上のと畜場数は69場、と畜頭数は1,402万3千頭で、全体に占める構成割合はそれぞれ43.9%、82.8%であった。

また、成牛を処理したと畜場数は142場、と畜頭数は117万8千頭であった。これをと畜頭数規模別にみると、1万頭以上のと畜場数は39場、と畜頭数は77万6千頭で、全体に占める構成割合はそれぞれ27.5%、65.9%であった(表9)。

表9 豚及び成牛のと畜頭数規模別と畜場数及びと畜頭数(全国)

区分	単位	豚					成牛				
		計	19,999頭以下	20,000～49,999	50,000～99,999	10万頭以上	計	999頭以上	1,000～4,999	5,000～9,999	10,000頭以上
と畜場数											
平成24年	場	162	41	25	29	67	144	28	36	37	43
25	〃	157	39	22	27	69	142	26	36	41	39
構成比											
平成24年	%	100.0	25.3	15.4	17.9	41.4	100.0	19.4	25.0	25.7	29.9
25	〃	100.0	24.8	14.0	17.2	43.9	100.0	18.3	25.4	28.9	27.5
と畜頭数											
平成24年	千頭	16,776	143	818	2,191	13,624	1,191	8	104	262	817
25	〃	16,940	165	737	2,015	14,023	1,178	8	104	289	776
構成比											
平成24年	%	100.0	0.9	4.9	13.1	81.2	100.0	0.7	8.7	22.0	68.6
25	〃	100.0	1.0	4.3	11.9	82.8	100.0	0.7	8.8	24.5	65.9

注：当該畜種を処理したと畜場のみの集計値である。

## 2 鶏卵流通の動向

### (1) 生産量

鶏卵生産量は252万2千tで、前年に比べ0.6%増加した。

都道府県別の構成割合をみると、茨城県が8.0%と最も高く、次いで千葉県が6.9%、鹿児島県が6.7%、岡山県が5.0%、広島県が5.0%の順となっている（図5、表10）。

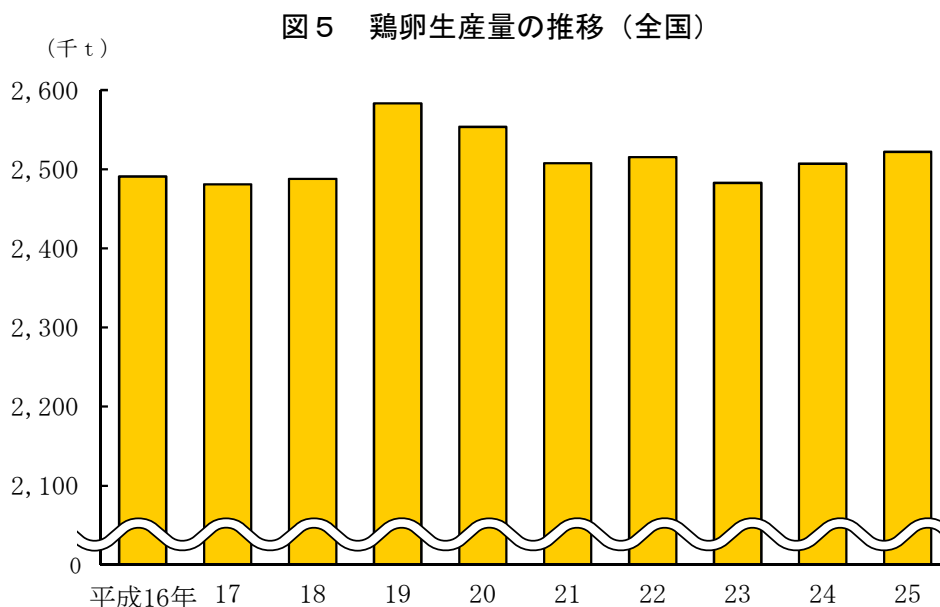


表10 鶏卵生産量（全国及び上位10都道府県）

区 分	実 数		対前年比	平成25年 構 成 比
	平成24年	25		
	千t	千t	%	%
全 国 計	2,507	2,522	100.6	100.0
茨 城 県	197	203	102.8	8.0
千 葉 県	178	174	97.6	6.9
鹿 児 島 県	168	169	100.4	6.7
岡 山 県	122	126	102.6	5.0
広 島 県	125	125	100.6	5.0
新 潟 県	101	112	110.8	4.4
北 海 道	106	105	99.5	4.2
愛 知 県	108	105	97.3	4.2
青 森 県	92	96	103.5	3.8
兵 庫 県	77	83	107.7	3.3
そ の 他	1,232	1,224	99.4	48.5



## (2) 出荷量

鶏卵出荷量は244万9千tで、前年に比べ0.7%増加した。

鶏卵の月別出荷量は、2月と3月は前年を下回ったものの、その他の月は前年を上回って推移した（図6、表11）。

図6 鶏卵の月別出荷量（全国）

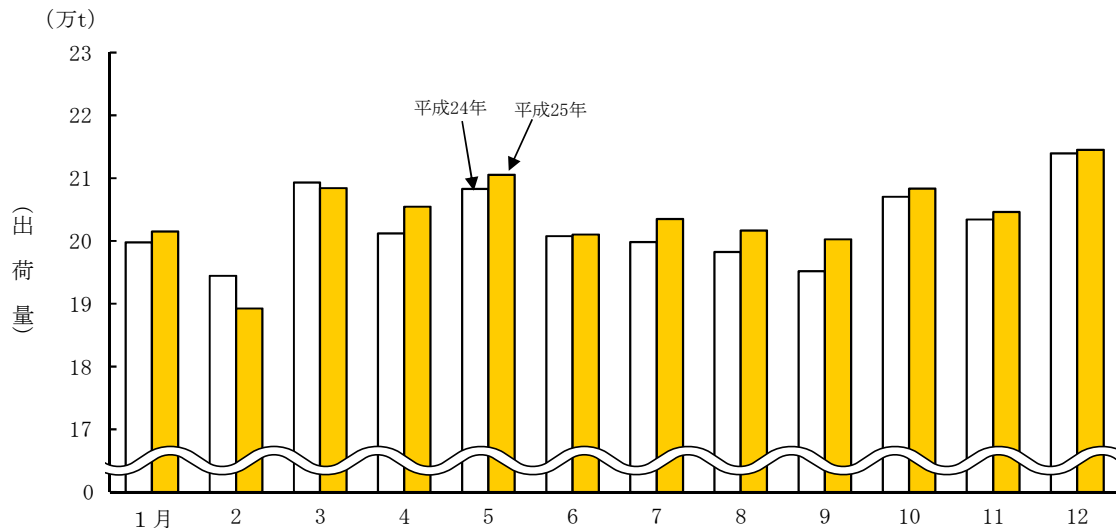
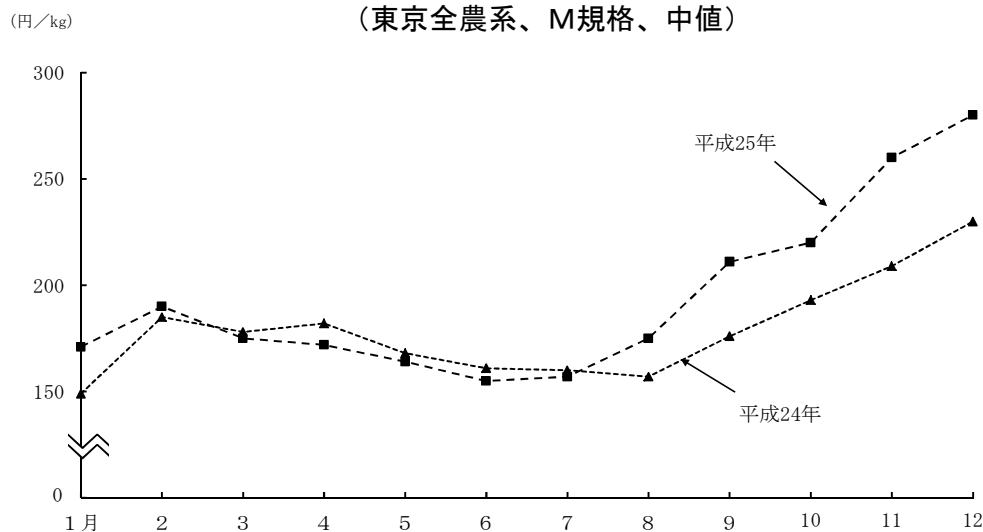


表11 鶏卵の月別出荷量（全国）

区分	単位	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成24年	t	2,431,514	199,789	194,463	209,310	201,189	208,279	200,782	199,849	198,247	195,190	207,062	203,414	213,940
25	〃	2,449,087	201,494	189,244	208,391	205,484	210,546	201,031	203,522	201,670	200,256	208,308	204,626	214,515
対前年比	%	100.7	100.9	97.3	99.6	102.1	101.1	100.1	101.8	101.7	102.6	100.6	100.6	100.3

## (参考) 卸売価格（鶏卵市況情報）

図7 鶏卵の月別卸売価格の推移  
（東京全農系、M規格、中値）



### 3 食鳥流通の動向

#### (1) 処理量

全国の処理羽数は、肉用若鶏が6億5,399万9千羽、その他の肉用鶏が841万羽で、前年に比べそれぞれ0.7%、2.2%増加したが、廃鶏が8,622万7千羽で、前年に比べ4.9%減少した。

全国の処理重量は、肉用若鶏が190万5,255 t、その他の肉用鶏が2万6,335 tで、前年に比べそれぞれ0.9%、1.2%増加したが、廃鶏が14万7,056 tで、前年に比べ7.9%減少した（表12）。

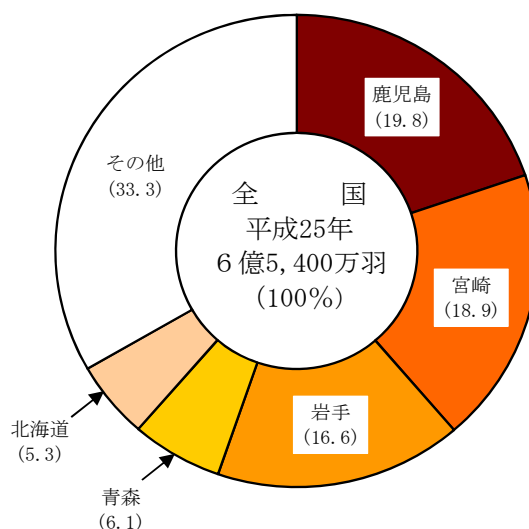
表12 食鳥処理量（全国）

区 分	単位	食鳥の種類		
		肉 用 若 鶏	廃 鶏	そ の 他 の 肉 用 鶏
処理量（生体）羽数				
平成24年	千羽	649,629	90,656	8,231
25	〃	653,999	86,227	8,410
対前年比	%	100.7	95.1	102.2
処理量（生体）重量				
平成24年	t	1,889,158	159,691	26,021
25	〃	1,905,255	147,056	26,335
対前年比	%	100.9	92.1	101.2

#### ア 肉用若鶏

都道府県別の出荷羽数割合をみると、鹿児島県が19.8%と最も高く、次いで宮崎県が18.9%、岩手県が16.6%の順となっており、上位3県で全国の約6割を占めている（図8）。

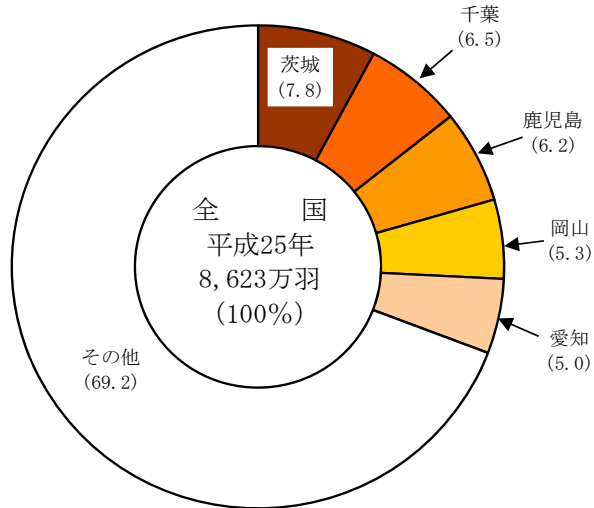
図8 肉用若鶏の都道府県別出荷羽数割合



## イ 廃鶏

都道府県別の出荷羽数割合をみると、茨城県が7.8%と最も高く、次いで千葉県が6.5%、鹿児島県が6.2%、岡山県が5.3%、愛知県が5.0%の順となっており、上位5県で全国の約3割を占めている（図9）。

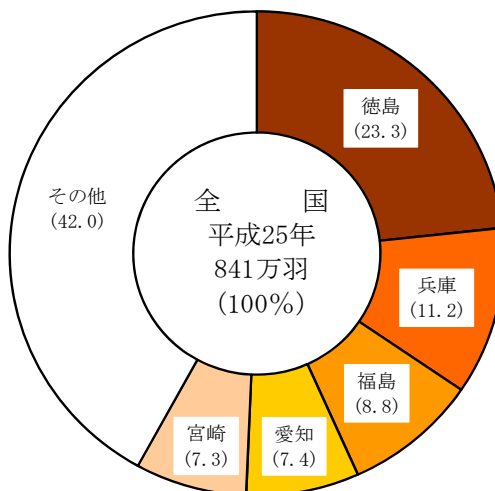
図9 廃鶏の都道府県別出荷羽数割合



## ウ その他の肉用鶏（ふ化後3か月齢以上）

都道府県別の出荷羽数割合をみると、徳島県が23.3%と最も高く、次いで兵庫県が11.2%、福島県が8.8%、愛知県が7.4%、宮崎県が7.3%の順となっており、上位5県で全国の約6割を占めている（図10）。

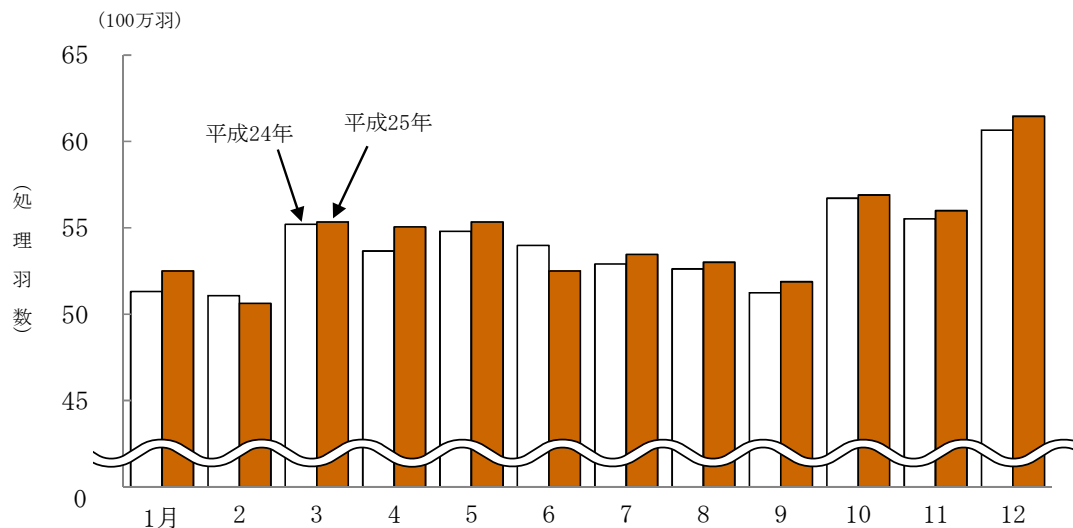
図10 その他の肉用鶏の都道府県別出荷羽数割合



## (2) 肉用若鶏の月別処理羽数

肉用若鶏の月別処理羽数は、2月と6月で前年を下回ったものの、ほかの月は前年を上回って推移した（図11）。

図11 肉用若鶏の月別処理羽数（全国）



## (参考) 卸売価格（食鳥市況情報）

図12 ブロイラーの月別卸売価格  
（東京、中値、もも肉）の推移

